

目次

目次	1
この中間報告書に寄せて.....辻村 泰 男.....	3
序	5
研究スタッフ	7
対象児のプロフィール	8
I 普通児とともに学ぶには	11
統合教育とは／種々の前提条件／質の高い授業の中で／専門的な援助の手を／視覚障害教育の諸形態 ／ケース・バイ・ケース／巡回教師の役割／普通教育の中での特殊教育／教材づくり／友だちと手をつないで	
II 豊かな環境刺激の中で.....	16
遊びが果たす役割／偶発的学習／休み時間(雪だるま・馬のり・学校ごっこ・あやとり・丸太渡り)／ 学級会／掃除当番／特別扱いと特別配慮との違い／給食当番／遠足(いも掘り遠足・河原での石投げ・ 石垣登り)／言語主義に陥らないように／運動会(行進・70～100メートル走・玉ころがしリレー・ 玉入れ・あとかたづけ)／いろいろな感覚をフルに生かして／みちくさ／学校から帰って(さかな釣 り・自転車乗り・庭の片隅で・弟といっしょに)／勉強部屋／ピアノやお琴を弾いて	
III 盲児のための教材・教具(1) 聴覚や触覚をとおして	28
盲人用具の役割／視覚的な情報を聴覚化する／録音(テープ) 図書の利用／視覚的な情報を触覚化す る／盲人用地図, サーマフォーム, 盲人用時計・はかり・ものさしなど／盲人用計算機・用具(盲 人用そろばん, 盲人用電子卓上計算機: 音声式・点字式, レーズライター)／盲人用具の分類	
IV 盲児のための教材・教具(2) 最小限必要なものは	33
点字教科書／ノートや ペーパー テストの改良・工夫／カセットテープレコーダー／パーキンス・ブ レーラー／レーズライター／オプタコン／社会科地図／計時・計量・計測用具／算数用タイル・おは じき類／標本・剥製・模型および実物／学校模型	
V 盲児のための教材・教具(3) 点字とパーキンス・ブレーラー	36
点字を読む指先の動き／点字触読のメカニズム／悪いクセがつかないように／教室での点字タイプの 使用／パーキンス・ブレーラーの長所／点字板の利点／標準点字板, 懐中点字器／点字の読みの力／ 点字教材「カンジノ ハナシ」の理解度	
VI 盲児のための教材・教具(4) 触察とレーズライター.....	43
触察とは／レーズライターの仕組みとその使い方／レーズライター用紙「ビニールペーパー」の特色／ 触知覚による図形認知についてのひとつの実験／触知覚においても《ゲシュタルトの法則》が働くか ／触察訓練の必要性／レーズライターによる作品＝詩「びわ」「ぼくの ゆびさき」「かん字」／絵 「お宮参り」「サボテン」「ミンミンゼミ」／日常のいろいろな触察経験／学習効果の転移	

Ⅳ	盲児のための教材・教具(5) 普通文字とオプタコン	55
	目が見えなくても印刷の文字が読み取れる／オプタコン特別研究／ガリ版刷りの計算問題も／オプタコンによる図・表・絵の読み取り／国語のペーパーテスト（縦書きのものを読むには）／年賀状／オプタコン・トレーニング・マニュアル／オプタコン普及の現況	
Ⅳ	ある授業の記録より	63
	「小数」(3年)の学習／授業の流れ／集団思考による深まり／友だちの意見に付け加えて	
Ⅳ	学習内容の90%は大丈夫	66
	普通学級での授業に盲児はどの程度参加できるか／理科の学習を例にとれば／糸でんわ／においをしらべる／電気のはたらき／すなぐるま／空気／ものの溶け方／目が見えないことによる限界／話し合い学習をとおして	
Ⅳ	からだ全体を動かして	70
	プールももうこわくない／ゴムとび／徒手体操／ボディ・イメージを／登り棒／逆上がり／とび箱／逆立ち／走り幅とび／ワァーッ、もう少し!!／苦手なのはボールを使 ^に っての運動	
Ⅳ	やがては白杖を使 ^に ってのひとり歩きを	75
	児童の発達と歩行／歩行のメカニズム／歩行指導の内容（ひとり歩きのレディネス→白杖の基本的な操作技術→道路におけるひとり歩きの実地訓練）／一般学級の中では	
Ⅳ	交友関係はこのように変わってきた	79
	盲児に対する仲間意識：反発・無関心・別格視・対等／盲児に対するかかわり方：敬遠・無視・静観・援助・親交・世話／交友関係は流動的／交友関係を左右する要因／同じクラスにいないとよくわからなくなってくる／上級生／ブラインディズム／積極的な働きかけ	
	本研究に直接関連したこれまでの研究報告	85